



# 校報しののめ 7月号

令和7年7月8日 松山市立東雲小学校



## 凡 事 徹 底

校長 山内 望

「凡事徹底(ばんじてってい)」私が日頃、自分自身に言い聞かせている言葉です。

「何でもない当たり前のことをしっかりやっていく」という意味です。そして、その積み重ねこそが大きな違いを生み出すという意味もあります。

「凡事徹底」を座右の銘としている偉人の一人に、元メジャーリーガーのイチロー選手がいます。イチロー選手に「今までに、これだけはやったと言える練習はありますか?」と質問したところ、「僕は高等学校生活3年間、1日たった10分ですが、寝る前に素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と答えたそうです。私もこう見えて高校時代は野球部でした。弱小野球部でしたが、毎日の部活の練習だけで目一杯だったことを覚えています。このエピソードを聞いて思ったことは、3年間素振りを続けられる強い精神力は、イチロー選手が生まれつき持っていたものではなく、毎日の素振りを通して身に付けた力なのかもしれないということです。では、少しでもイチロー選手のように、物事を続けていくためにはどうすればよいのでしょうか。何事も三日坊主で終わりがちな私が心掛けていることを二つ紹介します。

一つ目は、今の自分でもできそうなことを目標にすることです。小さな成功経験の積み重ねは、モチベーションにつながります。自分にとって、あまりいいことがなかった日でも、小さな成功経験(「頑張れた自分」との出会い)があれば、気持ちが切り替えられます。二つ目は、完璧を目指さないことです。例えば、毎日10分ランニングをすると決めていたとしても、7分で疲れたら7分をやめてもいい。体調が悪い日は休んでも、次の日再開すればいい。イチロー選手も毎日1秒の狂いもなく10分間素振りをしていたわけではないはずです。大切なことは、自分が決めたことを、毎日ご飯を食べるように続けること。そして、目標から期待される結果や変化を早急に求めすぎないことです。

さて、もうすぐ夏休みが始まります。保護者の皆様には御負担をお掛けする面があると思いますが、御家族で有意義な時間をお過ごしください。そのために、お子様と夏休み中に頑張ることを決めていただき、日々頑張りを認めたり、継続できるよう支えたりしていただきたいと考えています。特に、お子様が家族のために力を発揮して、家族から喜ばれる、認められる経験を重ねることは、お子様の自己有用感を高め、よりよい成長・発達につながるものです。洗濯物畳みや食器洗いなど、できそうなことをお子様と相談して決め、まずは一緒に取り組み、徐々に見守り、任せてみてはどうでしょうか。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ」

山本 五十六 語録 一部抜粋

## 第1回学校づくり推進協議会を行いました

本校では、6月20日(金)に第1回東雲小学校学校づくり推進協議会を開催しました。本会は、「家庭、地域、学校が協働して、学校の取組や学校評価による成果や課題について情報共有を図り、より広く協議を深めることによって、学力向上、いじめ・不登校、生活習慣、地域との連携等、児童に係る諸問題に対処し、児童の健全育成を図る」ことを目的としています。

全体会で本校の学校経営や教育活動について御説明した後、様々な立場の方を含む小グループで会員の皆様からご意見をいただくというスタイルで会議を行い、活発な意見の交流がなされました。既に、今年度も多くの地域・PTAのボランティアの方が学校の教育活動に御支援くださり、大きな教育的効果を上げています。引き続き、地域から広くボランティアを募りますので、御協力をお願いします。また、最後の全体協議の場では、本会がより有意義なものになるように、内容について貴重な御提案をいただきましたので、次回に生かしたいと考えています。

地域とともにある「まつやま型コミュニティ・スクール東雲小学校」を通して、学校と家庭・地域・関係諸機関が車の両輪のような関係で結び付き、連携・協働して東雲の子どもを育みたいと考えています。今後とも、一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いします。